



平成 20 年 10 月 29 日

各 位

株式会社ファルコバイオシステムズ
 京都市中京区河原町通二条上る清水町 346 番地
 代表取締役社長 平崎 健治郎
 (コード番号: 4671 東証・大証各第一部)
 問い合わせ先
 専務取締役企画管理本部長 安田 忠史
 電話 (075) 257-8500

業績予想(連結及び個別)の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成20年5月8日に公表いたしました平成20年9月期(平成19年9月21日～平成20年9月20日)の通期業績予想(連結及び個別)を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成 20 年 9 月 期 (平成 19 年 9 月 21 日～平成 20 年 9 月 20 日) 連結業績予想及び個別業績予想

連結業績予想

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	37,100	1,200	1,100	370	30円37銭
今回修正予想(B)	37,461	975	808	67	5円50銭
増減額(B-A)	361	△225	△292	△303	—
増減率(%)	1.0	△18.8	△26.5	△81.9	—
(ご参考)前期実績 (平成19年9月期)	35,092	1,432	1,340	709	57円87銭

個別業績予想

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	23,000	400	340	10	0円82銭
今回修正予想(B)	23,440	226	139	△169	△13円89銭
増減額(B-A)	440	△174	△200	△179	—
増減率(%)	1.9	△43.5	△58.9	△1,796.1	—
(ご参考)前期実績 (平成19年9月期)	21,848	690	798	431	35円24銭

2. 修正の理由

臨床検査事業並びに調剤薬局事業の連結、個別の売上高は、新規取引先の増加などによる検体数の増加や前期に開局した調剤店舗及び既存店舗の処方箋が好調であり、前回の公表値を上回る見込みであります。一方、営業利益、経常利益及び当期純利益については、コスト増加による利益率の低下の他、IT事業の先行投資に伴う費用が当初の予想を上回ったこと、加えて投資有価証券の時価下落に伴う評価損計上により連結、個別ともに前回の予想を下回る見込みであります。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上